



# こころ

白川郷学園  
教育相談だより No.7  
令和7年12月12日

## 3年生・4年生児童 スクールカウンセラーによる「こころの授業」を行いました。

内容：「相手の気持ちを考えて“ことば”をえらぼう」

12月9日(火)に、スクールカウンセラーに「こころの授業」をしていただきました。

“ふわふわ言葉(相手がうれしくなる言葉)”と“ちくちく言葉(相手が傷つく言葉)”を比べながら、「同じ伝えても、言い方ひとつで気持ちは大きく変わる」ということをみんなで考えました。子どもたちは、“ちくちく言葉”を、どうしたら“ふわふわ言葉”に変えられるかを一生懸命話し合いながら、前向きな言葉の使い方を学んでいました。

### 3年生の様子



### 4年生の様子



後半は、1グループに1セットだけ色鉛筆を用意し、クリスマスツリーの塗り絵に挑戦！

色鉛筆を貸し借りする場面で、「どうお願いしたら気持ちよく渡せるかな?」、「どんな言い方なら相手が『いいよ』言いやすいかな?」と、「ふわふわ言葉だけを使う」というルールで取り組みました。



振り返りでは、「たまに、ちくちく言葉を言いそうになるから、ふわふわ言葉に変えて相手に伝えたい。」、「『貸して』って言われた時、ふわふわ言葉だと気持ちよく渡せた。」など前向きな声がたくさん聞かれました。日常の中でも、相手の気持ちに寄り添った言葉遣いが広がっていくことを期待しています。